

大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度(2019年度)実績の検証結果について

【基本目標Ⅲ】

基本目標		基本的方向					
Ⅲ. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	➡	①結婚・出産・子育てしやすい環境づくりの推進	・若い世代が希望どおりに結婚し、子どもが持てるように、結婚から子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を充実させる。 ・子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくりを進める。				
事業内容		KPIの達成状況					
<p>■1. 結婚から子育てまでの切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚応援事業として、婚活パーティー、セミナー、相談業務を行った。 子育てアシスト訪問事業として、産前産後期の家庭に対する訪問援助活動を実施した。 託児スタッフ派遣事業として、各種イベント、講演会、教室、講座の開催時に託児スタッフを派遣した。 子ども発達支援事業として、発達障害相談、幼児教育カウンセラー派遣事業、作業療法士や言語聴覚士などの医療スタッフの協力で発達教室を開催した。 子育て用品リユース事業として子育て用品やマタニティ用品等のリユース事業を行った。 大川中央公園リニューアル事業として公園の施工計画、造成計画等の公園改修設計を行った。 <p>■2. 子育て応援拠点の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センター事業委託と利用料の一部助成。乳児全戸訪問時や4か月健診会場等でのチラシ配布などの事業啓発。会員登録説明会(延べ40回)や研修会(3回)、みまもり会員養成講座(5回)を開催した。 登録会員数:おねがい会員243名、みまもり会員57名、どっちも会員19名 子育て支援総合施設の実施計画を策定した。 <p>■3. 子育て世帯への経済的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園や保育園の3歳未満児の保育料を国の基準より約70%減額する施策を引き続き実施した。 平成28年10月より福岡県基準が拡大されたことから、本市においても、引き続き小学6年生までの通院医療費助成(1,200円/月の自己負担上限)を拡大実施した。 		<p>KPIの達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の子育て環境や支援への満足度については、アンケート未実施のため、最新の数値がH30年度であるが、目標からは大きく離れた数値となった。 ファミリーサポートセンター利用件数については、年々増加しているが、目標には届いていない。 					
		課題					
		<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 婚活応援事業については、専門の相談員が配置できていないため、会員に対するフォローやアドバイスが不十分である。 発達障害を行うスタッフの充実が課題である。 ファミリーサポートセンター事業についてはみまもり会員をいかに増やすかが課題である。 					
		今後の方針					
		<p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 婚活イベントに関しては市内の団体と連携し共同で開催することで成婚率の向上を図る。 子育てアシスト訪問、託児スタッフ派遣、子育て用品リユース事業については同内容で継続。 子ども発達支援事業については、新しく建設予定の子育て支援総合施設においてさらなる充実を図る。 子育て支援総合施設については、令和3年度のオープンを目指し、併せて子育て世代の方が安心して遊ぶことができる開放的な公園に改修する。 子ども医療費助成については、令和3年4月から中学生の通院医療費の助成を開始予定。 					
KPI		策定時の現況値 ⇒H31年度目標値	H27年度 (2015年度)	H28年度 (2016年度)	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)
地域の子育て環境や支援への満足度	15.4% ⇒70%	調査実施なし	調査実施なし	調査実施なし	40.1	調査実施なし	
ファミリーサポートセンター利用件数	20件 ⇒365件	—	88	245	256	301	
		検証委員会からの意見等					
		特になし					

基本目標	基本的方向
Ⅲ. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	<p style="text-align: center;">➡</p> <p style="text-align: center;">②活力と誇りある学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の大川を担う子どもたちに確かな学びの教育、豊かな心と健やかな体を育む教育、信頼される学校教育環境づくりを通して、教育水準の維持向上並びに活力と誇りのある学校教育の充実を推進する。 ・子どもたちの生きる力を育むため、幼児期から発達や学びの連続・発展する保・幼・小中連携教育、学校・家庭・地域が連携した教育に取り組む。

事業内容
<p>■1. 未来を拓く学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木育やふるさと学習については、各小学校において大川市で作成した「素読・音読・朗読集 唱」「おおかわの歴史」の活用や、職場体験などを通して大川市の伝統や文化について学ぶ機会を作っている。また、小学校にコミュニティスクールを設置し、学校と地域住民の連携を図った。 ・小中一貫教育の推進については、小6、中1、中2の生徒を対象に外部検定試験(GTEC)を実施。英語専科講師の配置による外国語活動を小学校で実施。小学校教員の中学校への兼務発令による小中一貫型教育を推進した。 <p>■2. きめ細かな教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に教職員有資格者等の算数学習支援員を配置し、中学校に非常勤講師を配置した。 ・中学校においては夏休み期間中、数学強化のための講座を開催した。

KPIの達成状況
全国学力・学習状況調査の正答率については、小学生は目標を上回り、中学生は目標を下回った。

課題
・中学生の国語・数学・英語いずれもが全国平均以下となっている。

今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に中学校にもコミュニティスクールを設置し、地域住民と学校との連携を深める。また、今後も英語教育の充実を図るとともに、教員の兼務発令による小中一貫型教育を推進する。 ・小学校への算数学習支援員、中学校への非常勤講師の配置による学力向上に努める。

KPI	策定時の現況値 ⇒H31年度目標値	H27年度 (2015年度)	H28年度 (2016年度)	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)
全国学力・学習状況調査の正答率	↗	—	小学生↘ 中学生↘	小学生↗ 中学生↗	小学生↘ 中学生↘	小学生↗ 中学生↘

検証委員会からの意見等
小学生では全国平均以上ある学力が、中学生になると平均以下となっている。コミュニティスクールを活用し、中学校の土曜、放課後授業(勉強会)を開催してみてもどうか。